

安全に施設を利用していただくために！ ～夏休み前の砂防施設安全利用点検を実施(魚野川編)～

7月2日(火)、湯沢砂防事務所管内の魚野川及び清津川流域計8箇所(登川流路工2箇所、水無川流路工、三俣溪流保全工、大源太川第1号砂防堰堤、板木砂防堰堤、土樽砂防堰堤、魚野川床固工群)において、夏休み前の砂防施設安全利用点検を実施しました。

本点検は、多くの方が水辺を訪れる夏休み前に、砂防施設やその周辺設備を安全に利用していただくことを目的として毎年実施しています。点検には、南魚沼市・湯沢町職員のほか、湯沢砂防スペシャルエンジニア(YSSE)にも参加頂き、それぞれの立場、目線で施設等の確認を行いました。

今回の点検で指摘があった箇所については、夏休み前までに対策を実施予定です。

砂防施設周辺の点検の様子



○意見
子供は、木や枝にぶらさがって遊ぶのが好きなので、護岸から川に誤っておちてしまう可能性あり
●対応
川側に垂れている枝は**枝払い**する



○意見
階段(川側)に草が生えていると、川の中から陸へ戻る場所がわかりづらい
●対応
階段下の**除草**を行う



キャンプ場周辺の
確認状況

施設を利用する際は天候等に十分注意して安全な利用をお願いします

川は自然あふれる魅力的な空間です。また、子どもたちの遊びの場でもあり、学びの場でもあります。一方で、川や水辺には、さまざまな危険が潜んでいます。

管内は、首都圏などから多くの方が訪れますが、川遊びをする際は、気象情報等で天候を確かめ、ライフジャケットの着用など事前準備の上、安全対策に十分注意いただくようお願いします。

子どもだけで川遊びに行かない、危険な場所や大きな石に近づかないことが事故を防ぐポイントです。